

トランスレーショナルリサーチ推進センター

Translational Research Program, University of Fukui

2015年度 活動報告書

福井大学トランスレーショナルリサーチ推進センター

2016年12月

はじめに

トランスレーショナルリサーチ推進センター長（当時）

宮 本 薫

TRセンターは基礎研究を臨床研究の橋渡しを目指したライフサイエンス分野の応用研究を支援することを目的に9年前に設立されましたが、今年度をもちまして、生命科学複合教育センターと統合されライフサイエンスイノベーションセンターとして新たに再出発することとなりました。本学TRセンターでは、臨床・治験などへと繋がる橋渡し研究のみならず、地方社会におけるQOLの向上や、健康増進につながる医学・工学・看護学・健康科学などを含めた幅広い分野での実用化を目指した応用的研究を積極的に推進、応援してきました。また、産学官連携本部などとも連携し、医療・介護を含むライフサイエンス分野での医工連携を推進しています。これまで毎年10件程度のTR研究に対して支援を行った結果、TRセンターの認知度の向上とともに年を追うごとに支援対象の研究はレベルアップし、高い成果を挙げると同時に、TR研究を目指す若手の研究者に切磋琢磨する絶好の機会を提供しています。

現在の日本における大きな課題として地方経済の活性化が強く求められ、その中で地方大学医学部および大学附属病院の果たす役割は想像以上に大きなものとなっており、医療分野でのイノベーション創出はますます重要になってきています。これからの医学・医療の発展には分子生物学だけではなく、情報科学やテクノロジーを主体とした工学分野の貢献が不可欠となっています。医療用素材の開発や、画像医学用のコンピューター解析技術の開発に加えて、ビッグデータを取り扱う情報科学も、これからの医療分野で盛んに活用されることが予想されます。本学は医学・工学・教育地域科学の3分野から構成される大学ではありますが、この構成を生かして、医工連携を推進する中で医工学分野を発展させていくことが本学の大きな使命であり、その中でTRセンターの果たす役割も極めて重要であると考えています。

年を追ってTRセンターの存在が広く認知されるようになってきた一方で、ライフ機構の一員である生命センターとは、所属教員や研究テーマなどがオーバーラップしている部分も多く、組織的には生命センターと一体化してライフ機構のもとで、それぞれで行ってきた委員会、研究助成の公募、報告書、セミナー（これは現在でも共通）を統合して推進していくこととなりました。組織改編とはなりますが、今後も福井大学でのTR研究推進にご協力いただければ幸いです。

目 次

はじめに

活動報告

1. 活動報告概要	1
2. 公募採択型研究費採択一覧・報告書	3
3. 研究交流会	23
4. セミナー（6件）	57
5. 活動状況に関するアンケート	71
6. 研究業績一覧	75